



## ～水晶山とハシドイの花～



第15回目の親林ボランティアは、平成26年7月6日(日)天童市「絆の森林」において総勢44名で開催されました。

今回の自然学習会では、山口地域づくり委員会水晶山に親しむ部会長、後藤久彌氏を講師でお迎えし、テーマ「水晶山とハシドイの保全活動」について講演をして頂きました。

水晶山の景観的魅力、登山の魅力、パワースポットとしての魅力、そして、ハシドイ(丁香花)とは6～7月に咲くモクセイ

科ハシドイ属の落葉高木で、円錐形の真っ白な花をつけること、そして山形県指定絶滅危惧種になっていることも説明して頂きました。その貴重なハシドイが魅力的な水晶山に生育してことがみつき、山口地域で水晶山を含め保全活動を行っているということでした。前回の「山歩きの楽しみ方」の講演もそうでしたが、講演を聞く度に登山(トレッキング)に興味湧いてきてきます。是非、機会があれば参加してみたい、そう思っている方もたくさんいるようでした。

自然学習会も活動当初はなく、近年行っていることで下刈り活動後の楽しみの一つになっています。今後も講演を続け、貴重なお話しをお聞きできればと思います。

そして、今後もボランティアを通じ、皆さんと有意義な一日を過ごせれば幸いです。

## ふるさと探検 part23 「西川町に根付くものづくり」参加報告

平成 26 年 7 月 5 日

女性委員会 三浦 仁恵

毎年恒例の県女性委員会の研修会が西川町で開かれ、天童支部から会員 2 名が参加。「西川町に根付くものづくり」をテーマに、大井沢・志津地区を巡りました。

大井沢地区では、和紙工芸作家 せいのみゆみさんのご指導で月山和紙の柔らかな質感を生かしたぼんぼり（キャンドルホルダー）作りを体験。透明なガラスコップにちぎり和紙を貼る作業では、皆、真剣な表情で、思い思いの形を作り上げていました。内部のろうソクに火を灯すと幻想的な光が浮かび上がり、あちこちから歓声が聞こえてきました。

次に陶芸作家 土田健さんの工房‘聴雪窯’を訪問。専門の職人さんを遠くから招いて作ったという登り窯を間近で見学させて頂きました。隣接する古民家の展示ギャラリーで沢山の作品を拝見しながら、生まれ育った京都から母方のルーツである大井沢へ移住して開釜にいたるいきさつや思いなど、貴重なお話を伺いました。

最期に訪れた志津地区の県立自然博物館ネイチャーセンターでは月山の自然についての展示を見学。特別展示中の変形菌は森の宝石とも呼ばれるそうで、不思議な色や形に大人も子どもも興味深く見入っていました。

子連れの参加者も多く、久々の再会に子どもたちの成長の早さを感じました。また普段と違った家庭人としての一面を垣間見ながら、会員同士の交流がさらに深まった貴重な一日となりました。





# 第57回 建築士会全国大会「ふくしま大会」レポート

平成26年10月23日 女性委員会 小鷹 貴子

本大会前日、10月23日(木)に行われた交流セッション③「東日本大震災からの双葉郡の復興を考える現地視察」に、天童支部から3名が参加しました。

廃炉作業を進めている福島第一原子力発電所構内の現場視察、除染作業やインフラ整備等を行っている地域の視察を通して、復興に向けて意見交換をしました。

視察はJヴィレッジでの入所手続き、概要説明を受け、また現場作業員が身に着ける白い防塵服(タイベック)やマスク等の体験もしました。その後、福島第一原子力発電所へと向かい、構内を専用のバスで見学しました。

※写真は東電撮影



大会当日、会場に向かう途中「あぶくま洞」へ足を運びました。洞窟の中に入り150m程の所に係員の方がいました。「一般コース」と「体験コース」の分岐点で、私たちは迷わず「体験コース」へと進みましたが、狭い鍾乳石の間を、腰をかかめながらぐったり、丸太のはしごを登ったり、とてもスーツと皮靴で行くような所ではありませんでしたが、洞内最大のホール「滝根御殿」のライトアップされた幻想的な世界に癒され、小学生の時以来のアドベンチャー気分を味わえました。その後、大会式典、交流大会へ参加しました。

大会二日目、福島県迎賓館(旧高松宮翁島別邸)を見学しました。伝統的和風住宅の様式に準拠して建てられた皇族別邸で、建築史的・文化史的にも貴重なものであることから、平成11年5月に国の重要文化財に指定されています。20mもある茅葺の長屋門を潜り玄関へ。扉は秋田杉の一枚板で出来ており、くり抜いて作られた格子に驚かされました。吟味された材料は勿論、松の間、竹の間、梅の間と各部屋毎に洗練された意匠が素晴らしく、滅多に観られない貴重な経験となりました。帰路は紅葉シーズン真っ只中の裏磐梯へ。神秘的に彩りを変える五色沼を散策、檜原湖の美しい景色を眺めながら裏磐梯の紅葉を満喫しました。



美しい景観と自然の恵み豊かな「ふくしま」の現況を知り、地域らしさを失わない再生、復興のあり方、これからの建築にどう生かすのかを考える良い機会となりました。

## 第27回 山形県建築士会青年大会 in 天童市

平成26年11月22日 青年部委員長 高橋 宏



平成26年11月22日に天童ホテルを会場に、第27回 一般社団法人山形県建築士会青年大会が開催されました。

平吹会長をはじめ、東北5県から青年部委員長、県内の全ての支部から会員をお招きしまして、総勢57名にて大会を実施できました。

はじめに、開催にあたっては、士会の諸先輩方や女性部の皆様からのご協力及び、天童支部からのバックアップを頂き、無事にやり遂げる事が出来ました、誠に感謝申し上げます。

前回天童市で開催された青年大会から、10年の時を経て巡ってきました本大会は、「防災力」～青年建築士として考えそして行動する～をテーマに掲げ、防災アドバイザーからの基調講演と、天童市役所庁舎の免震改修の現場見学をメインに実施いたしました。

11月下旬の開催ということで、現場見学に際しては、当日の天候や気温の低さを心配しておりましたが、天候にも恵まれ、青空の中 皆様をお出迎え出来、何はともあれでした。

大会テーマについては東日本大震災をはじめ、近年県内各地で甚大な被害をもたらしている暴風や豪雨災害に対し、我々 青年建築士として防災や減災への意識、危機感を共有していこうということで、設定しました。

基調講演では、防災アドバイザーの千川原さんを迎え、近年の災害事情を説明してもらい、「私たちに出来ること」を題材に、ワークショップ形式で各支部の会員との意見交換、全体発表、それに対し千川原さんからの考察という流れで、話しを盛り上げて頂き とても有意義な情報交換の場になったのではないかと思います。

現場視察では、改修工事真最中の現場を見学させて頂き、免震装置設置に至る高い技術力は然ることながら、当時の庁舎基礎工事についても、非常に丁寧な施工についても感心しました。

市役所の業務はそのままに、基礎に免震改修を施すという、なかなかお目にかかれない現場を見学できたことは、参加頂いた方々にも非常に好評だったようです。





懇親会では、クイズ大会や余興にと、様々な趣向を凝らしたアトラクションで、支部一丸となり「お・も・て・な・し」を敢行！

各支部の皆様も一緒になって盛り上げて頂き、親睦も図れ長い1日に無事幕を下ろせたと思います。

最後に、諸先輩方からは、前回大会の運営ノウハウをご指導頂きました。今年から青年部の会員数はぐっと減ることにはなりますが、今後も伝統を絶やすことなく伝えてゆくと共に、ご尽力頂いた皆様に感謝を申し上げます。

お・も・て・な・し



## 天童市本庁舎 耐震改修工事 現場見学会

平成 27 年 2 月 17 日 教育事業委員会 喜早浩由

皆様には大変なじみの深い天童市役所本庁舎ですが、現在免震化の改修工事が行われております。2月17日(火)、その天童市役所本庁舎耐震改修工事の現場見学会が行われました。参加人数は、当日飛び入りも含めまして24名の参加でした。実は、昨年11月22日に山形県建築士会青年大会が天童にて開催され、その一環として市役所現場見学会が行われたのですが、そのときは免震装置が未設置ということもあり、個人的には今回の見学会を大変楽しみにしていました。

まずは現場事務所にて、現場代理人である大成建設(株)松橋課長、天童市建設課秋保主幹より工事概要の説明を頂き、続いて現場での見学を行いました。残念ながら現場での写真撮影は禁止ということでしたが、秋保主幹、松橋課長のわかりやすい説明もあり、みなさましっかりと心に焼き付けていたようでした。市役所棟では、免震装置もさることながら、普段では土の中のはずの基礎や基礎梁がアラワシとなっており、手作業での掘削作業や、業務時間外の作業等の説明を受け、改め

て今回の工事の大変さを感じました。議会棟では、柱の中間免震の施工まただ中で、柱の切断、プレート補強、免震装置設置をしているところで、なんと柱切断後は、わずか2枚のプレートで軸力を仮負担しているとのことでした。

既存建物の免震化ということで、普段ではなかなか携われない工事であり、本当に貴重な経験であったと思います。また、今回の改修工事で、災害時の防災拠点である天童市役所が免震化されるということは、天童市民にとって大変喜ばしいことではないでしょうか。私たち建築士も様々な技術を吸収し、国民に安全安心を与えられるようになっていかなければならないと改めて決意した今回の見学会でした。



## 違反建築パトロール 同行

平成 26 年 10 月 17 日 教育・事業委員長 鏡 勉

去る平成 26 年 10 月 17 日天童市役所建設課建築主事の秋保さん、同建設課の伊藤さんに加え天童支部より 3 名（丸吉 鈴木氏 平田建築設計 喜早氏 イイダ設計 鏡）の参加により違反建築のパトロールに同行し、今回は 60 棟の施工現場をパトロールいたしました。

毎回恒例ですが、今回は特に確認表示板の未掲示、確認表示板の使いまわしによる建築主の間違い、記載内容の不備、改正以前の古い表示板の使用などの違反がありました。

違反建築パトロールに同行させていただき感じたことは、表示板の使いまわしが某ハウスメーカーに多いことと、工事現場管理者が未記入など基本的な不備が多く見られたように思います。



## ボーリング大会

平成 26 年 3 月 7 日 古澤 裕之

3 月 7 日（土）、空港ターミナルボウルで天童支部第 15 回ボーリング大会を開催しました。参加者 8 名で 2 ゲームを行い、優勝は総得点 296 点で西尾秀男さん、準優勝は 266 点で佐藤守さん、第 3 位は 255 点で庄司昌夫さんでした。

真剣勝負の中、ターキーが出るなど、とても盛り上がる大会となりました。

また、大会終了後は、食彩キッチン CoCoFuKu において懇親会を行い、大会を振り返りながら親睦を深めることができました。

3 月初めのお忙しい中、参加していただいた皆様ありがとうございました。

